



駒林小 学校便り

令和2年度
9月号
8月31日発行

行動から文化へ

学校長 西尾 武泰

2週間の夏休みが明け、元気な声が戻ってきました。今年の夏は気温が40℃を超えた地域もあり、猛暑というよりも酷暑という方が当てはまるような日も続きました。8月17日に学校が再開された時、私は南門の前に立ち「子どもたちは元気で登校してこられるかなあ。」と心配しながら子どもたちを待っていたのですが、私の姿を見た子どもたちが「おはようございます。」と6月の学校再開時よりもさらに大きな声で挨拶してくれたことに感動しました。本当に立派な子どもたちです。今ではその声がさらに大きくなりましたし、子どもたちの方から先に挨拶をしてくる子が増えてきています。そのような立派な態度がとても嬉しいです。これこそ家庭教育、家庭での躾の素晴らしさです。

私の好きな言葉の中に「行動は繰り返すことにより習慣となり、やがて人格となる。集団では文化となる。」という言葉があるのですが、まさにその通りで、しっかりと挨拶を繰り返すことにより、駒林小学校の子どもたち一人ひとりの人格が形成されていくのを感じています。また、挨拶のしっかりできる集団で駒林小のより良い文化も作られているのだと感じています。

さて、4・5・6年生が実施予定でした宿泊行事ですが、一度は実施日を延期して何とか実施できないものかと検討しましたが、総合的に考えた結果、今年度の実施は難しいと判断し、児童と教職員の安全を第一に考え中止とさせていただきます。10月31日に予定されている運動会については種目を精選し、時間も短縮して実施する予定です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、だれもが制限された窮屈な生活を強いられていますが、「これもできない。あれもできない。」だけでなく、「こうしたら出来るかもしれない。」というような希望を持った前向きな考え方でこの状況を乗り越えていかななくてはと考えています。

新型コロナウイルス感染拡大防止と熱中症予防とを同時に行わなくてはならないために本校の教職員も例年以上に苦勞することがありますが、皆様のご理解とご支援をいただきながら乗り切りたいと考えています。今月もよろしくお願いいたします。